



2018～2019年度

国際ロータリー第2790地区

君津ロータリークラブ週報

例会日 毎週月曜日
12:30PM～13:30PM
例会場 ホテル千成
Tel:0439-52-8511

事務局
〒299-1144君津市東坂田1-3-3-304
Tel:0439-52-8882
Fax:0439-20-8880

Vol.11回 No.2063 2018.10.13(親子体験枝豆収穫祭)
Vol.12回 No.2064 2018.10.22

平成30年10月 第3例会 晴

開始点鐘 永嶌 嘉嗣会長
R ソ ン グ それでこそロータリー
お 客 様 路璐(米山奨学生)
四つのテスト 中野 賢二会員

【出席報告】 免除者4名 休会0名

例会数	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2064	58	55	38	17	69.09%
2063	58	54	34	20	62.96%
前々回の修正		メイクアップ4名		78.18%	

(敬称略)

会長挨拶及び報告

永嶌嘉嗣会長

先日は親子体験枝豆収穫祭、大森委員長、茂田副委員長をはじめとして大変ご苦勞様でした。倉繫副会長、開会挨拶ありがとうございました。クラブの多くの皆さまのご参加をいただき、非常に有意義な会であったと思います。仕事の都合で初めから参加できず申し訳ありませんでしたが、なんとか閉会式に間に合わせる事ができました。その場で皆様の大変楽しそうな雰囲気が感じられ、本当によかったなと思いました。10月には花抜き、また花植えもあり、社会奉仕委員会の皆様には大変なご負担をおかけしますが、よろしく願いいたします。また先日はロータリー情報研修会にご参加いただきました会員の皆様、大変ご苦勞様でした。本来この研修会は入会后5年未満の方が対象であったのですが、今年はガバナーの意向もあり全会員が対象となりました。当クラブの吉野ガバナー補佐の主導のもと、当クラブの岡野幹事の司会進行で進められました。並木鷹男地区ロータリー研修委員長による研修趣旨説明の後、木更津ロータリークラブの平野和弘地区奉仕プロジェクト統括委員長による「職業奉仕を再考する」と題してのご講演がありました。その中で自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれるとあり、非常に分かりやすく、また当クラブの出前教室はまさにこれに当てはまると思いました。

今週末は地区大会もあり、会員の皆さまにも大変なご負担と思いますが、よろしく願いいたします。鈴木会員、本日はお客様をお連れ下さりありがとうございました。また、花壇の準備もして頂き大変ありがとうございました。

本日のプログラムは米山奨学生の方をお願いして卓話です。最近では当クラブでは奨学生をお世話する機会から遠ざかっており、ひさしぶりの機会です。楽しみにしておりました。どうぞよろしくお願いいたします。また機会があれば当クラブでも奨学生のお世話をさせていただきたいと思っております。

以上甚だ簡単ではございますが、本日の会長挨拶とさせていただきます。

報 告

- 10月1日に第4回定例理事会議が開催されましたので報告致します。
 - 1) 会計報告
異議なし
 - 2) 指名委員会開催について
 - ①日 時：10月29日(月)11時30分～(例会前)
 - ②委員長：隈元直前会長
 - ③メンバー：パスト会長5名+会長・副会長・幹事・会長エレクト・川名・釘持・宮本・鈴木・隈元・永嶌・倉繫・岡野・内山 計9名
 - 3) 出前教室について
職業奉仕委員会より
周西中より 出前教室日程の希望あり
12月17日(月)午前中に開催(時間等詳細については、中学校と調整中)
会長は閉会式の挨拶のみ出席予定(業務の都合)
*1月：八重原中、2月：周西小 実施予定
 - 4) 枝豆収穫祭について
社会奉仕委員会より
10月13日、14日の両日も雨の場合は、イベントは中止。
残った枝豆をいつ収穫するか？(10月中旬に会員の皆さんで収穫する：別途連絡)
 - 5) 駅前花壇の花植えについて
プラン・見積もりについて異議なし

国際ロータリー会長 バリー・ラシン
ガバナー 橋岡 久太郎
ガバナー補佐 吉野 和弘

会 長 永嶌 嘉 嗣
会長エレクト 内山 貴美子
副 会 長 倉 繫 裕

幹 事 岡 野 祐
編 集 大 住 昌 弘

雨で中止の場合は、別途協議する

6) 周西南中学校区コミュニティスクールからの要望について

学校からの要望については、保護者がやるべき内容でロータリーとしては協力できる事項があるかどうか検討する

7) 11月5日(月)の例会について

年間予定通り夜間例会開催(場所:旅館かわな)
内 容:10月の慰労会(会費:7000円)
理事会:17時30分~

2. 10月13日(土)当クラブロータリーデーとして親子体験枝豆収穫祭が開催されました。当日の参加者は会員・家族34名、招待者22名、一般参加者30名、合計86名でした。当日ご担当された、社会奉仕委員会、公共イメージ向上委員会、国際奉仕委員会の委員長及び各委員の皆様、またご参加された会員の皆様、ありがとうございました。

3. 10月17日(水)明治神宮RC主催の明治神宮清掃奉仕活動が行われました。当クラブからは、釧持会員・大川会員・福田会員・村上会員が出席されました。お疲れ様でした。

4. 10月20日(土)第5グループ情報研修会が開催されました。当クラブからは、12名が出席致しました。ご出席された皆様、お疲れ様でした。

5. 同じく10月20日(土)きみつ秋花火が開催されました。当クラブからお手伝いに参加された皆様、お疲れ様でした。

6. 第2790地区橋岡ガバナーより地区役員、RYLA実行委員会委嘱者へ委嘱状及びが届いておりますのでお渡し致します。

佐々木会員

7. 10月13日(土)に鈴木会員の第4子(三男)が誕生しましたのでクラブよりお祝いをお渡しします。

8. 公益財団法人ロータリー財団へポリオ寄付及び特別寄付された、大川会員へポール・ハリス・フェローのバッジと認証状、さらにマルチ・ポール・ハリス・フェロー+1のバッジが届いておりますのでお渡しします。



R財団委員長 大川裕士

幹事報告

永蔭嘉嗣会長

1. 例会変更のお知らせ

<木更津RC>

10月25日(木)休会(定款第8条第1節b項に基づく)

11月1日(木)ロータリー環境保全例会(花植え)(定款第8条第1節b項に基づく)

2. 次週10月29日の例会前11時30分より指名委員会が開催されます。パスト会長の川名会員・釧持会員・宮本会員・鈴木会員・隈元会員と永蔭会長・倉繁副会長・内山会長エレクト・岡野幹事が出席です。宜しくお願いします。

また、次週29日の例会プログラムは、駅前花壇の花植えです。ご協力頂ける会員の方は、例会には作業する服装で構いません。ロータリーのポロシャツ又はジャンパー着用の上、ロータリーの赤い帽子、軍手等ご持参下さい。よろしくお願います。

<回覧>

1. 君津RC週報

2. 第5グループ週報

3. 11月5日の夜間例会の出欠の案内

4. 会員名簿の校正

*写真を撮り直したい方は、10月31日までに写真のファミリーで撮影してください。(10月31日以降になると変更できません)

5. 明治神宮清掃奉仕の様子(写真)

6. バギオ訪問交流の旅ご案内

7. ザ・ロータリアン(英語版)

8. ハイライトよねやま211

9. 風の便り(ロータリー希望の風奨学金より)

<配布物>

1. 例会プログラム

2. ロータリーの友(10月号)

3. ガバナー月信(10月号)

*マルチプル・ポール・ハリス・フェロー:鈴木会員掲載(P9)

4. かずさエフエムより冊子「KAZUSA」

委員会報告

社会奉仕委員会

「親子枝豆収穫祭」の報告及び「駅前花壇花植え作業」について

大森俊介委員長

10月13日(土)に開催されました、枝豆収穫祭の報告を致します。当日は、天候が少し気になりましたが、早朝より会員の皆様には、機材積込・設置、豚汁・枝豆の調理などご協力を頂き滞りなく対

応する事ができました。参加者は、招待者22名、一般参加者30名、会員と家族34名の総勢84名での開催となりました。大住委員長には、RCのPR、ポリオ撲滅の取り組みなど資料まで作成して頂き、丁寧に参加者へご説明をして頂きましたので、RCの活動を理解して頂く良いきっかけになったと思います。スムーズに事業が進み、天候も心配だったことから予定していた時刻より30分程早め閉会としました。枝豆の実は例年に比べ小さかったですが非常においしく、参加された方も満足していただける事業になったと思います。無事、事業を終えられたのも、会員の皆様の絶大なるご協力があったからだと思います。本当にありがとうございました。来週は例会終了後に、周西中1年生による、駅前花壇花植え事業が開催されますので、そちらにつきましても、引き続き、ご協力をお願い致します。

以上、委員会報告とさせていただきます。

公共イメージ向上委員会

「ロータリーの友」10月号紹介

小川哲也委員

◆横組み

P4 (目次)

今月号の特集は2件

- ①歴史でつながる (明治150年を記念して)
- ②米山月間の特集として“半世紀を超え受け継がれるバトン”

歴史の方は明治維新に関連の強い地区のクラブからの記事がP7以降で掲載されている。興味のある方は読んで頂きたい。

- ①会津と鹿児島 (薩摩)
- ②京都
- ③角館
- ④武雄

米山の方はP18以降に記載。P18に書かれていますが、米山梅吉氏も生誕150周年とのことです。これで明治と両方の特集になったのが理解できた。米山氏の紹介が載っているのが興味のある方は読んで頂きたい。

◆縦組み

P4 地域資源を活かした復元力のあるまちづくり (三井所 清典氏)

今までに携わってきた仕事の紹介。主なものは以下。

- ① (P4) 明治神宮の森
本殿の隣に神楽殿をつくる際の設計を担当
神宮の森の木を伐採せずにつくった

- ② (P5) 熊本の震災復興事業 熊本の業者、職人を使って熊本の材料でつくった
地域のものを使うとは、材料だけでなく人もつかうこと

- ③ (P5) 山古志の復興

熊本と同様に地元の人が主体で建築工事を実施
一般の工業製品は日々の変化があたりまえ。
一方建築物は 短くて30年。長ければ200年
使う。

長く使うものは技術、生業を簡単に変えるのではなく、受け継がれてきたものをつかえ。

- ④ (P7) 木造建築の勧め

日本は国土の2/3が森林。木を積極的に使用したら良い。

しかし公共工事ではなかなか広がらない。

設計や材料調達等が鉄筋コンクリートと比較して難しい。

その中で会津の幼稚園を木造でつくった。完成後に園児が楽しそうに過ごしているのを見て大切さを実感できた。

現在建設中の国立競技場も木造でつくっている。今後も木造の公共建築物をつくっていききたい。

プログラム

卓話「私の留学生活」

米山奨学生 路璐様

皆様、こんにちは。私は、千葉大学大学院看護学研究科の路璐と申します。今日はここで皆様に自分のことを紹介させていただき、すぐくうれいす。どうぞよろしくお願ひいたします。



1. 自己紹介

まずは、自己紹介をさせていただきます。

私の名前は路璐です。「路」は苗字で、もう一つの「璐」は下の名前です。この苗字は中国でも、ちょっと珍しいので、小さい頃から、たぶん幼稚園の頃から、いつも自己紹介の時、「フルネームは何ですか?」「苗字は何ですか」と聞かれていました。私は「路は苗字ですよ」と言うと、「この苗字があるんだ!」と驚かれました。そして、発音はすぐ覚えやすいので、いつも入学の時からすぐ先生に名前を覚えられて、授業の時質問されることが多かったです。そのせいで、子供の頃、「なんでニックネームみたいな名前をつけたの」とちょっと自分の名前が嫌いでした。母に「何で変な名前をつけたの?」と聞いたら、母は「下の名前の璐は「美玉」の意味で、美しい玉、美人の意味だよ。縁起がいい

し、そして、苗字と一緒に可愛いじゃん？」と答えてくれました。私はいい名前だと分かって、だんだん自分の名前が好きになって、今は名前の意味は自慢話の一つになりました。

私の出身地は中国の陝西省の西安市（せいあんし）です。西安市は中国陝西省の省都であり、古くは中国古代の諸王朝の都となった長安です。国家歴史文化名城に指定され、世界各国からの観光客も多いです。経済的重要性から大幅な自主権をもつ副省級市にも指定されています。西安のもう一つの名前は「西京」です。西京とは「西の首都」の意味ですが、一般的に東アジアの伝統では、首都の名前をこのようにつけることが多いです。例えば、日本の東京は、首都を意味する京都からの方角をもとにしており、「北京」、「南京」、「西京（長安、西安）」は、中国の内陸部にある洛陽からの方角をもとにしてしています。西安は古代より政治の中心地として西周から秦、漢から隋、唐の都城と十数の王朝の都として千年の歴史を有す古都です。今でも、秦始皇兵馬俑博物館や西安の城壁など、千年の歴史がある建物はたくさん保存されています。

2. 研究について

私は、看護学研究科博士後期課程で看護学を専攻しています。

今年は博士後期課程三年生として、博士論文に取り組んでいます。博士論文の研究は二段階に分けて目標を立てています。第一段階では、作成した支援プログラムを用い、臨床の看護師の指導者たちを支援することです。第二段階では、このプログラムの効果を検証し、評価することです。そして、評価の結果をまとめ、日本の病院における看護研究指導を促進する支援プログラムの推進を計画しています。

この研究に取り組むきっかけは、看護の質の向上及び看護実践の改良のために、看護研究の成果を活用し実践することが必要だとたくさんの文献により説明されていたからです。また、日本の《看護師等の人材確保の促進に関する法律》により、看護師のケアの質向上のため、能力開発として看護研究を促し、研究指導者を育成することが、病院に対して重要な責任といえます。しかし、先行研究としての実態調査をみると、看護研究の重要性を十分に理解し、多数の看護研究に取り組んでいる日本の病院では、半数以上で研究指導者が管理職を兼任しています。中・大規模病院でも、専任の研究指導者が不足しており、指導者を対象にした支援体制がまだ足りなかった現状がわかってきました。つまり、単に看護師を対象にして、研究に関する知識・技術を支援して、看護研究に取り組めるよう促進するだけでなく、看護師の自らの研究認識を強め、研究能力を高

めることを指導できる指導者の育成が一番重要な支援といえます。このようなことから、私は支援プログラムを開発して、有効性を検証した後、このプログラムを活用して、指導者を目指す中堅看護師が必要な指導能力を身につけられるように努力しています。そして、中堅看護師たちに指導者としての自信を持たせることも目標にしました。今後、院内で指導者の育成及び看護研究支援体制を設立するように貢献していきたいと思っています。

3. 留学生活で感じたこと

日本へ留学するきっかけとして、私は中国の病院で働いていた時からずっと臨床の看護問題が気になっており、毎月の勉強会で発見した問題を提起して、研究をしたいという気持ちを看護師長に伝えたことがあります。しかし看護師長から、研究をすることに意味はなく、制度を変えるわけにはいかないと回答され、研究の提案は拒否されてしまいました。それでも時々医学研究の雑誌を読んでいた私は、看護研究をしたい気持ちがますます強くなっていきました。その後、仕事をしながら看護学修士課程の入学試験を2回受けましたが、合格しませんでした。同僚は私に「中国の看護師は研究しないよ」と言い笑いました。私は、看護研究をしないことの方が絶対に間違っていると思ったので、日本に注目しました。日本の医療・看護は発展途上国の中国より進んでいて、ほとんどの看護師は研究をすると聞いたからです。そこで、日本へ留学することを決め、日本語を勉強し始めました。そして、日本へ来て日本語学校へ通い、日本語能力試験N1に合格しました。後は博士前期課程に入学し、日本の看護師免許を取得し、そして後期課程に進学しました。

今年は日本に来てから6年目です。日本を留学先に選んだ要因として、もちろん看護研究をやりたいという理由ですが、欧米や韓国、いろんな国が選べるのに、どうして日本を留学先に選んだかというと、私は日本が好きです。幼稚園の頃、《鉄腕アトム》が好きで、母がアトムのおもちゃを買ってくれました。それは私の人生で初めて日本のアニメを知った時でした。小学校の時、ドラえものの漫画がクラス中ですごく流行っていました。私はお小遣いを貯めて、ドラえものの漫画を買って、大切にしました。その後は、だんだん日本のアニメ・漫画が好きになって、日本語や日本の文化にも興味がわいてきました。いつかあの漫画の中の国に行ってみたいという夢がありました。だから、留学先を選んだ時、少しも躊躇なく日本を選びました。

日本へ来て、日本の文化をもう一層理解していくと、日本と中国の違いを感じました。一番印象が残っている出来事は、日本へきたばかりの時、私

は通っていた日本語学校の寮に住んでいました。最初の半年の寮費を銀行に振り込みで支払って、管理人さんからメールが来て、寮費を確かに受け取ったということを伝えてくれるはずですが、メールの最初には「寮費を支払うこと、有難うございます。」という一言がありました。中国語では「有難」が「困難がある」という意味なので、私は寮費を支払うことができなかつたと理解しました。管理人さんに慌てて電話して、「どうしよう」と聞いたら、管理人さんは「どうしたの？ちゃんと受け取ったよ」と答えました。後は調べて、あれは中国人も知っている「ありがとう」の漢字だということが分かりました。いくら同じ漢字を使っている国でも、やはり違うことも多いと実感しました。

私の研究室は2014年から2016年までの3年間、外国人看護師の受け入れのプロジェクトをしていました。この外国人看護師が主に中国人の看護師でした。この3年間に、たくさんの交流ができていました。例えば、中国の病院からの研修生が千葉大学で授業を受けたり、病院を見学したりしたことがあります。中国の大学院生が千葉大学へ交換留学したこともあります。その中で、うちの研究室には私だけが中国人ですので、私はずっと通訳として自分の力を発揮してきました。私は大学院生として自分の授業を受けなければならぬと、そして、生活費のためにアルバイトをしなければならぬと感ずていました。加えて、通訳として研修生や交換留学生と一緒に授業を受けたり病院で見学したりしなければならぬと感ずていたので、本当にストレスが大きかったです。しかし、一生懸命に日本語を聞いて、中国語に翻訳してその場で伝えることを通して、だんだん私の日本語が上手くなったことが感じられました。そして、このような交流のおかげで、中国からの研修生や留学生はもちろん、日本人の友だちもいっぱいできて、本当に嬉しかったです。

4. ロータリーアンとの交流及び将来像

私は現在、船橋みなとロータリークラブでお世話になっております。月に一回、クラブで食事をさせていただくたびに、様々なロータリーの方々との交流することができて、非常に楽しく思います。例会の時、研究のことだけでなく、中国の生活や食事のマナーまで、いろいろなことがおしゃべりできて、毎回の例会で楽しい時間を過ごしています。

また、2017～2018年度の最終例会として、稲荷屋でロータリーアンの皆様と食事をさせていただきました。前年度の米山奨学生も来ていただいて、彼女と皆様といろいろなことを交流できて、非常に楽しく、これからは頑張ろうという気持ちが溢れてきました。

奨学生になってから、一番大きな変化と言えば、やはり経済的な支援だと思います。私は日本へ来たのが2012年の10月でしたが、その時私は既に26歳になっていたのも、実家の両親が私の学費を負担しているのが申し訳なく、これ以上の負担をかけたくないと感ず、日本へ来て1ヶ月後、なんとか紹介してもらって、アルバイトをはじめました。その後は、入学試験を合格して、千葉へ来て、修士を修了して、進学して、博士論文で忙しい時でも、アルバイトをやめることができなく、ずっと続けていました。そして、平日は学校があるので、いつも休日に出勤していました。つまり、日本へ来てからずっと、休日に休むことができませんでした。しかし、今年はずいぶん違います。私は米山奨学生になりました。4月1日は日曜日でしたが、私は家で楽に過ごしました。本当に地味な感想ですが、「ありがとう」と感謝の気持ちでいっぱいでした。

中国のことわざで『受人滴水之恩、当似湧泉相報』があります。その意味が一滴の水のような恩にも、湧き出る泉のような大ききさでこれに報いることで、困った時に助けてもらったことは、決して忘れずに恩返しすることというので、私はロータリーアンの皆様から、受けた御恩を返さなければならないと思います。支えてくれるロータリーアンの皆様の恩返しとして、これから私はロータリーの理念を広げ、いつかロータリーアンの一員になりたいと思います。そして、皆様にいただいたたくさんの温かい気持ちをより多くの人に伝えることができれば幸いです。

卒業した後は日本の大学で先生になり、教育・研究を続けようと思っています。そして、単に中国、日本だけでなく、自分の中国語・英語・日本語を活かして、欧米などいろいろなところで発表して、世界中で研究を共有して社会貢献できれば嬉しく思います。また、大学で日本と中国の医療・看護の特徴を学び教えれば、中国と日本の交流の懸け橋になることができると思っています。そして、ロータリーアンの方々との絆、日本との絆を大切にしていきたいと思っています。

今後も皆様のご指導ご応援、よろしくお願ひします。ご清聴ありがとうございました。

ニコニコBOX

永崑 嘉嗣 宮本さんに連勝しました。ハンデが1つ減りました。

隈元 雅博 先日の枝豆収穫移動例会に参加された皆様お疲れ様でした。2017～2018年度RI会長賞が決定したそうです。2790地区では寺嶋直前ガバナーを輩出された柏RCとホストク

	ラブの柏東RC君津RCの3クラブだけだそうです。改めて皆様のご尽力に感謝いたします。大変お世話になりました。これからもロータリー活動を頑張ります。	喜多見 貴	先週は、半年に1度の抜きうちの社内監査が入り、気候は涼しくなったにもかかわらず、汗だくだくで対応に追われました。無事終了しましたのでこれからまた、営業活動頑張ります。
鈴木 荘一	出産祝い、ありがとうございます。心より感謝します。	村上 進	皆様こんにちは。ロロさん卓話ありがとうございました。
小川 哲也	マジックの宮澤義也がU23の侍ジャパンで頑張っています。今日までの3試合すべてに1番DHで出場中。毎日ヒットを打っています。金メダルを持って帰国して欲しいです。		先日明治神宮の清掃奉仕に参加して来ました。大変良かったです。来年も参加するのでぜひ皆様も一緒に!!
	誕生祝い、ありがとうございます。	福田 順也	明治神宮清掃奉仕行って参りました。下半期もがんばります。
大森 俊介	先日は、枝豆収穫祭ご協力ありがとうございました。来週は花植えです。こちらもご協力お願いします。また、記念日のお花頂きました。ありがとうございます。	坂本 直樹	朝晩もだいぶ冷え込むようになり、社内でもインフルエンザの症状が数名出始めました。年末の繁忙期前に、体調管理を徹底していきたいものです。
中野 賢二	土曜日の秋花火が強風により途中中止となってしまいました。私はスーパーお手伝いさんでしたが、とても残念でした。来年は私ももっとお手伝いをしますので、みなさん見に来て下さい。	赤星 哲也	やっと涼しくなって来ました。奉仕活動がしやすい季節となりました。頑張ります。
	私の記念日、ありがとうございます。	秋元 政寛	先日、「君津秋花火」に参加しました。うわさには聞いていましたが、音楽と花火のコラボレーションが素晴らしかったです。来年もぜひ参加したいと思いました。関係者の皆様おつかれ様でした。
中村 圭一	記念日のお花、ありがとうございます。		
谷 浩司	私の記念日の花、ありがとうございます。今年もきれいな花で部屋が明るくなりました。	大川 裕士	路璐様、来訪ありがとうございます。卓話ありがとうございました。
		谷口 弘志	最近はめっきり秋の気配となり、気温の変化で体調を崩しがちになりますので、健康に留意しましょう。
宮本 茂一	①君津秋花火、参加された皆様大変おつかれ様でした。	早見 秀一	アクアラインマラソンが大盛況に終わり来月は、木更津ブルーベリーランが開催されます。引き続き地元を盛り上げて参ります。
	②ロータリー情報に参加された皆様、大変おつかれ様でした。	倉繁 裕	先般、朝、新幹線品川駅構内のスターバックスで、偶然にも宮本会員にお会いしました。出張の際の経路、場所、日付、時間帯が一致する確率は極めて低いと思われませんが、これもご縁の深まりと思っております。
	③先週の木曜日、寫ちゃんとゴルフをしました。パターとアプローチが上達していて、おどろきました!!これで連敗、次回に燃えています。(とても悔しいです)		この土日は久しぶりに良い天気でした。土曜日はあい変わらずのヘタゴルフでしたが、日曜日は戌の日で、娘の安産祈願で松戸神社に行きました。近くに戸定邸という旧いお屋敷と庭園があり暇つぶしにお勧めです。
	④所用にて早退いたします。	猪瀬 浩	先日、ロータリー情報研修会に参加させて頂き、ロータリーにおける職
川名 正志	先日、10月12日に、孫が誕生いたしました。女の子でした。又、10月20日に開催された君津秋花火では君津RC又会員企業のみなさまには、ご協力頂きありがとうございます。		
遠田 祐治	席替え抽選、初めての当選ありがとうございます!私の誕生日、ハロウィンと楽しい月末になりそうです。		
前田 亮	最近ロータリー活動積極性に欠け申し訳ありません。これから頑張ります!		

業奉仕とは何なのか？を学ばせて頂きました。学んだことを今後に活かせるように頑張っていきたいと思います。

別府 明人 岡野幹事御尊父様のご冥福をお祈り致します。

松井泰次郎 めっきり秋らしい天候になって来ましたが、かぜなど引かないようにロータリー活動を行ないましょう。

佐々木昭博 土曜日に行なわれた「きみつ秋花火」。強風の為、30分程打ち上げて中止となり残念でしたが、それでも当社社員達は目の前で打ち上る花火に大変感動しておりました。実行委員の皆さま有難う御座いました。

吉野 和弘 10月20日情報研修会に参加して頂いた会員の皆様ありがとうございました。次はIMですので多くの会員の参加をお願い申し上げます。高島様ありがとうございました。

廣田 二郎 このところ事業（枝前収穫祭、情報研修会）に不参加で申し訳ございません。

時下 俊一 この週末と次週の週末はいずれも私事で外出することとなり、地区大会他の行事にも参加出来ずに申し訳ありません。次週の例会、花植えも欠席させていただきます。

大浦 芳弘 やっと天気も落ちついてきました。南方に発生した台風が気になりますが、何とかいい天気が続いてほしいものです。



移動例会（親子体験枝豆収穫祭の様子／ H30.10.13）



国際ロータリー第 2790 地区第 5 グループ情報研修会の様子 (H30.10.20)

